

# 旭川市 地域学校 協働活動通信



Vol. 1 令和3年7月1日

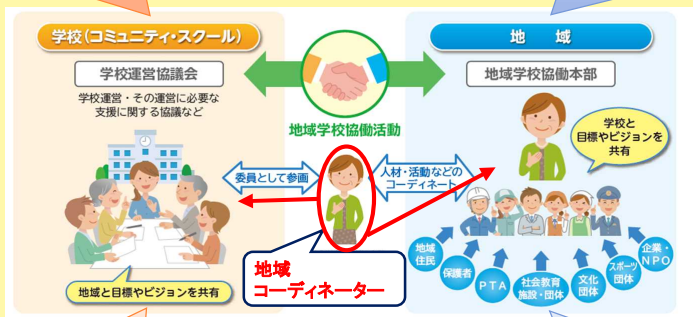
## 地域学校協働活動の推進

地域学校協働活動とは、地域の高齢者、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体等の幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指して、地域と学校が相互のパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

旭川市では、令和3年5月に全ての小・中学校に「学校運営協議会」が設置され、地域住民や保護者が学校運営に積極的に参画する仕組みが整備されました。さらに、地域と学校の連携・協働を推進するために、地域の体制である「地域学校協働本部」を整備し、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」を一体的に実施し、相互の連携・協働のもとに学校づくり、地域づくりを進め、地域全体で子供たちの成長を支えていくことが必要であることから、今年度中にモデル地域を選定し、地域と学校の組織的・継続的な連携・協働体制を整備していこうと考えています。

**コミュニティ・スクール**  
学校運営協議会を  
設置した学校

**地域学校協働活動**  
学校と地域が相互にパート  
ナーとして連携・協働して  
行う**様々な活動**



**学校運営協議会**  
(学校の体制)  
学校の運営と必要な支援  
について**協議する機関**

**地域学校協働本部**  
(地域の体制)  
幅広い地域住民や団体等の  
参画により形成された  
**ネットワーク**

## 旭川中学校 大塚製薬とコラボ！



旭川中学校では、令和3年6月1日（火）に、熱中症アドバイザーの大塚製薬株式会社札幌支店旭川出張所千葉裕平所長を講師に、熱中症対策講座を行いました。

この講座は、体育大会等の屋外での運動やコロナ禍における日常的なマスクの着用などにより、リスクが高まっている中、企業と連携して熱中症の危険性について生徒が学習し、自分事として捉え対策する意識を高めるとともに、熱中症の予防策を学び、自らの命を守る方法を知ることが目的に開催されました。

本来であれば、地域住民も一緒に参加する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、生徒のみ、学年ごとに、オンライン会議システムを活用して、千葉所長から熱中症の症状や対策について話していただきました。

生徒は、「学んだことを体育大会や今後の生活に活かしたい」と話すなど、専門家から話を聞くことにより、理解を深め、対策する意識が高まっていました。

また、小中一貫教育の観点から、旭川小学校と旭川第一小学校でも実施しましたが、発達段階を考慮して、教職員を対象としました。

熱中諸対策講座は他の学校等でも実施可能です。なお、大塚製薬との調整は教育委員会社会教育課で行います。希望される場合は、教育委員会社会教育課まで御連絡ください。

## 編集後記

今後、この通信で、旭川市内の学校と地域が連携・協働した取組について紹介していきます。ぜひ、各学校や地域での取組を御連絡ください。また、事前に連絡いただければ取材に伺わせていただきますので、よろしくをお願いします。

発行/旭川市教育委員会社会教育課  
通信に対するお問い合わせは

TEL 0166-25-7190

E-mail shakaikyoiku@city.asahikawa.lg.jp